五木東小

第18号

学校便り

文責

生田　文明

くらしを支える人々

～三・四年生　社会科見学～

社会科で、三年生は「はたらく人とわたしたちのくらし」、四年生は「ごみのゆくえ」という学習をしています。そこで、実際にわたしたちのくらしを支える方々の仕事を見学し学習を深めるために、八日（水）に人吉球磨地域の施設や事業所を訪ねました。

はじめに、毎日給食で飲んでいる牛乳は、どのようにして作られ、わたしたちの学校に運ばれてくるかを調べるために、相良村の球磨酪農農業協同組合へ行きました。牛乳は、球磨地区の酪農家さんが、よい環境で育てられた牛から搾乳し、協同組合へ集められ、パック詰めされること。また、この牛乳パックには、目の不自由な方にも牛乳であることが分かるように切り込みが入れてあることなど、生産から流通までたくさんのことを教えていただきました。

次に訪れた人吉市のカルチャーパレスでは、プラネタリウムと市立図書館を見学しました。プラネタリウムでは、五木東小学校のためだけに特別に上映していただきました。「街の明かりが消えるとこんなにも星が見えるんだ」「本当の空みたい」と子どもたちは感動していました。また、図書館では、「お父さん、お母さんが生まれるよりずっと昔の新聞がありますか」との説明に驚いていました。






最後に訪れた人吉市の人吉球磨クリーンプラザでは、不燃物を手作業で分別される様子や臭いがきつい環境の中で、作業されている様子を見て、正しく分別してゴミを出さなければいけないことを実感したようです。

わたしたちのくらしを支える方々の様子を実際に見て学ぶことができました。学んだことを生活に生かし、必ず実践できるよう指導していかなければと強く思いました。




主体的に学び、互いに高め合う児童の育成をめざして

十日（金）は、五木村教育委員会による学校訪問があり、本校の子どもたちの生活・学習の様子を観ていただきました。

本年度は標記テーマのもと、児童が見通しをもって学習するための方策やＩＣＴを活用した授業の創造に力を入れてきました。

「授業に集中している子どもの姿があった。授業のめあてや目標を一人一人がはっきりつかみ、見通しをもって学習に臨むことができているためであろう。」と見通しをもたせるこれまでの取組の成果を評価していただきました。また、ＩＣＴを活用した授業の創造では、「ＩＴＣを活用することで、子どもたちは意欲的に学習に取り組むことができる」「授業の多様化を図る上で有効である」ことも示唆していただきました。

今回、各学級の授業で指摘していただいたことを明日からの授業に生かし、主体的に、さらに互いに高め合う授業となるようにしていきたいと思います。





＜自由研究＞

夏休み期間中、たくさんの子どもたちが、自由研究に取り組みました。どの作品も工夫されており、努力の成果が見られるものばかりでした。その中から、今年の人吉・球磨地区科学展に四作品を出品し、入賞しました。

【優賞】

○「一色の水性カラーペンから現れるいろいろな色」　五年　岡本・田山

○「見てみよう音のかたち」　五年　山尾・数山・髙田・黒木

【良賞】

○「植物の花粉はどうなっているの」　五年　東

○「カビのようす」　四年　嶽本

科学展に出品した四作品については、理科室外の廊下に掲示しています。来校された折に、ぜひご覧ください。